

い だい
伊台地区

面積：12.45 km²
人口：6,353 人（高齢化率 27.6%）
世帯数：2,654 世帯

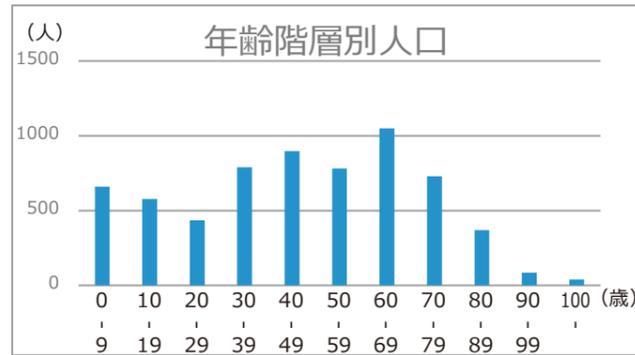


【地区の特色】

伊台地区は、松山市の北東に位置する標高約 150m の盆地である。今でもたくさんの自然が残っており、野菜や果樹等の生産が盛んである。また「薄墨桜（うすずみざくら）」のある西法寺、本村天神社等数多くの史跡がある。市内からも近いので、松山市のベッドタウン的性格を持っており、地区外からの転入も多い。



薄墨桜



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	地区の弱み	地域が抱える福祉課題
<ul style="list-style-type: none"> 古い歴史を持った地域と新興地域とが融合した活動ができている Uターン家族が多く、新興住宅地の子どもは増えている 地区の役員にアンケートをとったところ、92%の人が環境に恵まれており、住みやすいと感じている ・自主防災組織があり、防災への意識が強い ゴミ出しに困っている人を地域の人々が助けるなど、地域の間関係がよい アップダウンが多くウォーキングに適した地形 ・犯罪が少ない 新しく道ができて便利になった 自治会ごとに子ども会が活発に活動している 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関の運行が少ない 店舗、医療機関が少ない 土砂災害の危険箇所が多い 獣害問題 上下水道が自己管理 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の割合が高い地域（70才以上が18%）である 独居高齢者の孤立 公共交通機関が少ない（本数、運行時間） 店舗が少なく、買い物に不便を感じている 各種団体役員の後継者不足

伊台地区社会福祉協議会

構成団体	地区民協・公民館・分館・小学校・中学校・社会福祉法人・地域代表者会 消防団・中央農協・自治会・駐在所・高齢クラブ・PTA・まちづくり協議会
主な取り組み	活動内容
サロン活動の支援	いきいきサロン7ヶ所と地域交流サロン1ヶ所の活動が充実し、サロン同士の繋がりが深まるように支援を継続して行っています。
ふれあい交流会	毎年、小学校低学年の児童と高齢者がスポーツやそうめん流し、ピザ作りの交流会を通じて親睦を深めています。
各種団体との連携	避難所開設時の支援や地域行事への参加協力など、地区内の各種団体と連携し活動の強化を図っています。

買い物弱者等支援事業（毎月第2日曜日）

交通の不便解消の為、福祉工房いだい清風園（障がい者支援施設）と協働で毎月第2日曜日に高齢者・障がい者等を対象に、買い物支援を行っています。清風園のバスを活用し、市内のスーパーで買い物をしたり昼食をとるなど、参加者同士の交流にも繋がっています。



<地区社協が目指すもの>

「楽しく、笑顔のある町、安らぎと思いやりのある町」を目指して、まちづくり協議会、公民館などその他関係機関と協力しながら、薄墨桜祭り、校区大運動会、秋祭りなどを通じて、旧住民と新興団地住民の交流を深めています。

さらに、サロン活動を通じて高齢者の介護予防に努めたり、地区の高齢者・障がい者の支援を目的に、買い物弱者等支援事業を福祉施設と協働で実施するなど、各種福祉サービスを通じて地域の福祉促進に努め、住み良いまちづくりを目指しています。

地区の状況	■地区民協 民生委員 主任児童委員	11名 2名	■町内会・自治会・区長会等	13団体
	■まち協の設立	平成29年度	■高齢クラブ	2クラブ
		■子ども会	0団体	
		■自主防災組織	12組織	

伊台地区の活動の魅力は、「新旧の住民の交流」と「社会資源との協働」です。一般的には、旧住民と新興団地住民の関係性は課題として挙げられることが少なくないですが、伊台地区は乗り越えています。また、社会福祉法人等の福祉施設の地域貢献として、高齢者等の買い物支援といった日常的な生活支援が既に実現しており、7月豪雨災害を教訓として、今後、地域で取り組もうとしている避難行動及び避難所開設の訓練や仕組みづくりにも福祉施設等の協働が進められています。地区社協の構成団体が互いの強みを持ち寄った活動を継続することで、さらに住民が「安らぎと思いやりのある町」と実感する地区になることが期待できます。



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区

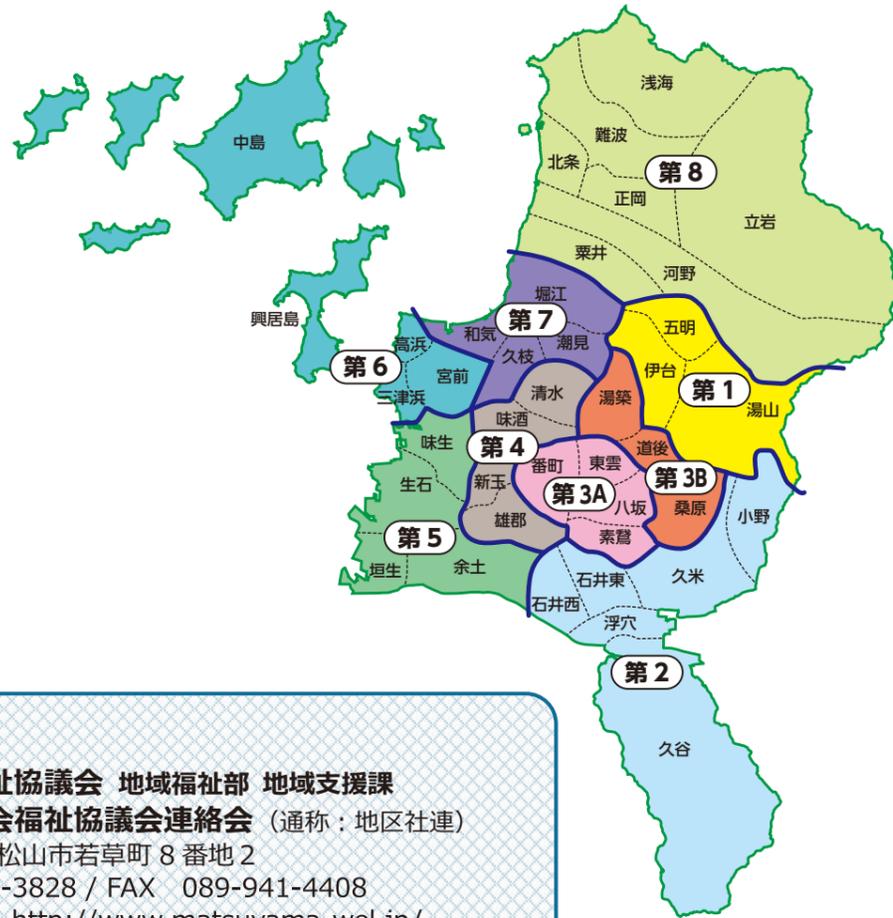
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏